科目ナンバリング	U-LAS06 20035 SJ43						
授業科目名 <英訳>	環境経済・政策論基礎ゼミナール Introductory Seminar on Environmental Economics and Policy			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 松下　京平		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	法・政治・経済(各論)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・後期	曜時限	金4	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

様々な領域で実施されている環境政策に関して、その必要性や評価軸を標準的な教科書を輪読することによって学ぶ。また、環境経済の基本原理や環境政策の実際の形成過程を理解することを通じて、良き環境政策のありかたを考究する。

[到達目標]

環境経済学や環境政策論の基礎的概念とそれを用いた環境政策分析の手法を修得し、幅広い環境問題の理解に応用できるようになる。

[授業計画と内容]

第1回　イントロダクション
　教科書の概要を説明する。基本的な参考文献などを紹介し、授業の進め方と準備・発表の方法を周知する。また、出席者の担当部分を決定する。

第2回～第13回　教科書の精読
　受講者は教科書の小節を分担し、その内容を報告するとともに、章末問題の解答を行う。
　以下のようなテーマそれぞれについて２～３回の授業を行う予定である。

１．成長するストック：再生可能資源管理の経済学
２．市場重視型の環境政策の諸原理
３．現実世界での市場重視型手段の利点
４．市場重視型手段の実際
５．持続可能性と経済成長
６．結論

第14回　まとめ
　それまでの精読の成果をまとめ、残された課題や疑問点について全員で議論する。切りのよいところまで読了できなかった場合、この回を補充に充てることもある。

第15回　フィードバック

[履修要件]

前期のILASセミナー：環境経済・政策論との連続履修が推奨される。

環境経済・政策論基礎ゼミナール(2)へ続く↓↓↓

環境経済・政策論基礎ゼミナール(2)

[成績評価の方法・観点]

担当箇所の報告内容と授業への参加の観点から平常点で評価する。個別の成績評価基準は第１回目の授業で説明する。

[教科書]

Nathaniel O. Keohane, Sheila M. Olmstead 『Markets and the Environment, 2nd ed.』（Island Pr）ISBN: 978-1610916073

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

毎回事前に教科書を読んでおき、疑問点を整理した上で、授業に参加すること。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]